

「60年安保闘争」50年・ベトナム解放35年

6・16（水） 市民の意見30の会・東京 講演会

池澤夏樹・吉川勇一 講演会

日 時

2010年6月16日（水）

午後6時30分～9時（開場：6時）

場 所

千駄ヶ谷区民会館（東京・渋谷）

（JR原宿駅から徒歩7分）

参加費

資料費で800円

池澤夏樹（作家）

「『カデナ』を記して——40年あとのべ平連」

※裏面の書評をご参考に

「米軍基地を抱え込んでいる沖縄があり、あの戦争で捨て石にされた沖縄がある。沖縄は被害者の島です。当然、それを組み込まなければ沖縄を書いたことにならない。そんなに意識していなかったが沖縄が書かせたんですね」

「僕はどうしようもなく反戦的反軍的なんですね。いかに彼ら、戦争に加担する勢力の鼻を明かしてやるかを考えている。最近、僕は『べ平連』だと言っています。40年遅れてきた『べ平連』……」

「戦争の歴史を背景にしているとはいっても、真ん中にどんと据えてしまうと、怨念と糾弾の小説になってしまう。実際には軽くはないが、もう少し軽いものの中に埋め込んでおきたかった。大きくて強い組織に、小さくて弱いものがどう立ち向かえるか。徒手空拳ながらやれることがある。それも歯を食いしばらずに」……
(『朝日新聞』2009年11月10日号より)



吉川勇一（市民の意見30の会・東京）

鶴見俊輔さんの「小田実の組織論」について

DVD
上映

『ロングインタビュー 鶴見俊輔 戦後日本 人民の記憶』

（制作：テレビマンユニオン）より一部抜粋（約15分）